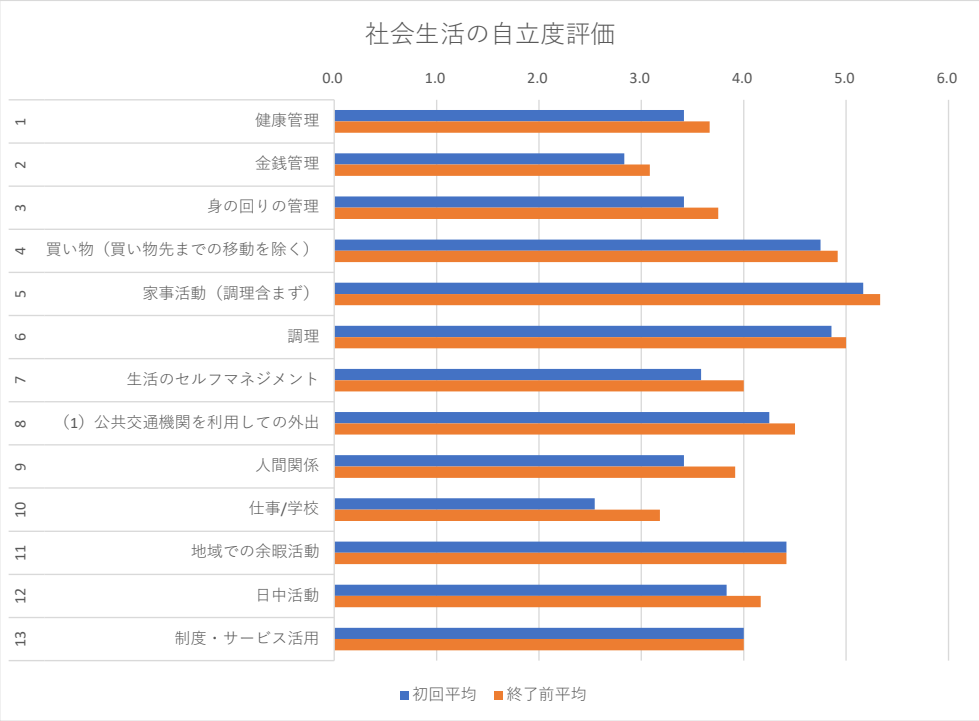
社会生活の自立度評価（SIM）

		項目	初回平均	終了前平均	評点
毎日の社会生活のための活動を維持する項目	1	健康管理	3.4	3.7	0.3
	2	金銭管理	2.8	3.1	0.3
	3	身の回りの管理	3.4	3.8	0.3
	4	買い物（買い物先までの移動を除く）	4.8	4.9	0.2
	5	家事活動（調理含まず）	5.2	5.3	0.2
	6	調理	4.9	5.0	0.1
	7	生活のセルフマネジメント	3.6	4.0	**0.4**
社会参加に積極的に関わる為の項目	8	（1）公共交通機関を利用しての外出	4.3	4.5	0.3
	9	人間関係	3.4	3.9	**0.5**
	10	仕事/学校	2.5	3.2	**0.6**
	11	地域での余暇活動	4.4	4.4	0.0
	12	日中活動	3.8	4.2	0.3
共通項目	13	制度・サービス活用	4.0	4.0	0.0
		合計	48	54	3



社会生活の自立度評価を導入して１年目での公表となる。
評価対象者：１２名（初回評価から３カ月での終了前評価となった者３名を含む）
評価結果
①初回から終了前評価を比較すると、１２の評価項目の中１１項目で改善したことが分かった。
②評価項目の中で特に改善が図れたのは、評点が高い順に、仕事/学校（+0.6）、人間関係（+0.5）、生活のセルフマネジメント（+0.4）だった。
これら評価内容として、仕事は/学校では、意欲や体験時の作業の質、規則的な生活習慣の獲得などとなる。人間関係では、友人を作れたか否か、トラブルの有無、相談の有無、気分転換ができるか否かなどである。生活のセルフマネジメントでは、主体的に服薬・金銭管理、規則的な生活習慣やスケジュールに併せた行動の有無の獲得状況を評価している。
③利用者を個別でみると、１２中６名が評点で改善しており、５名が変化なし、１名が下がっている。各項目で２点以上改善しした者は４名いた。改善した項目は、公共交通機関の利用、人間関係、金銭管理、日中活動があげられる。